



【東証プライム/7199】 プレミアグループ株式会社

2024年3月期 第1四半期 決算説明資料

2023年7月28日



1. 決算ハイライト
2. 決算概要
3. カープレミア
4. ファイナンス事業
5. 故障保証事業
6. オートモビリティサービス事業
7. Appendix

※決算説明動画はIRサイト (<https://ir.premium-group.co.jp/ja/library/movie.html>) にて配信しております。



1. 決算ハイライト

- 中古車価格は正常化の兆しも**高止まり**の状況。中古車市場（台数）は**横ばい**で推移
- クレジット/故障保証ともに**好調**。トップライン（=取扱高）は**2桁成長**
- 長期的には金利上昇トレンドと想定も、**安定的**に推移（長プラ 前期末1.45%→1Q末1.30%）

マーケット

(グラフ単位：万台)

新車販売台数

前年比

+30.5%

460

600

23/3.1Q

24/3.1Q

中古車登録台数

前年比

+0.9%

747

753

23/3.1Q

24/3.1Q

KPI

(グラフ単位：億円)

クレジット取扱高

前年比

+33.3%

557

742

23/3.1Q

24/3.1Q

故障保証取扱高

前年比

+14.3%

14

16

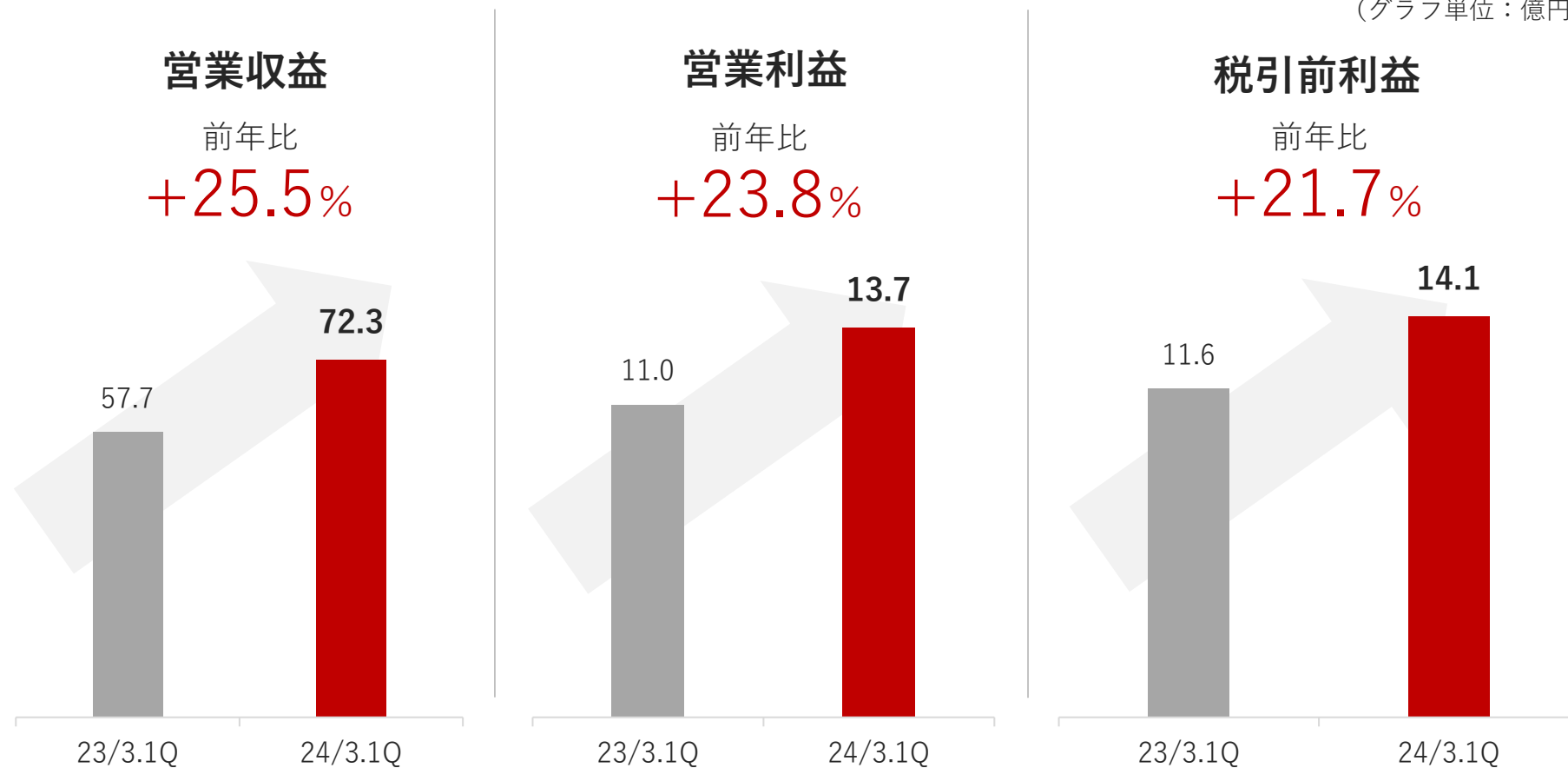
23/3.1Q

24/3.1Q

- 各事業が順調に伸長し**増収増益**で着地。営業収益は前年比**+25.5%**、税引前利益は前年比**+21.7%**
- 将来収益（繰延収益）も堅調に**積み増し**。来期以降の**安定収益**をBSにストック（**463億円**）
- 当社グループと株式会社ビッグモーターとの取引量は**非常に僅少**。当社への業績影響は**殆どなし**

業績

(グラフ単位：億円)



将来収益（繰延収益）

全体

463億円

前年比 **+23.2%**

ファイナンス

395億円

前年比 **+24.4%**

故障保証

64億円

前年比 **+15.3%**

その他

5億円

前年比 **+30.6%**

(注) 1. 前年の営業収益は表示方法の変更により、一部組替をしております。

中期経営計画 進捗

2023年5月に新たな中期経営計画（-ONE&ONLY 2026-）を発表

- 最終年度2026年3月期において、**営業収益440億円/税引前利益102億円**を見込む
- あらゆるモビリティサービスを手掛ける**カーププレミア事業モデル**の確立
- 既存事業の**持続的成長**とモビリティ各事業の**規模拡大**、**DX**による業務効率化を推進

その他トピックス



2年連続で「DX 注目企業」に選定

- ✓ 当社を含め19社が選出
- ✓ DX推進 = 「重要な成長戦略」
- ✓ **業務イノベーション**や**プラットフォーム構築**推進



TCFD提言への賛同

- ✓ 事業活動を通じて**脱炭素社会**、**循環型社会**形成への貢献
- ✓ **4R**ビジネスの推進



故障保証 累計契約、**150万件突破**

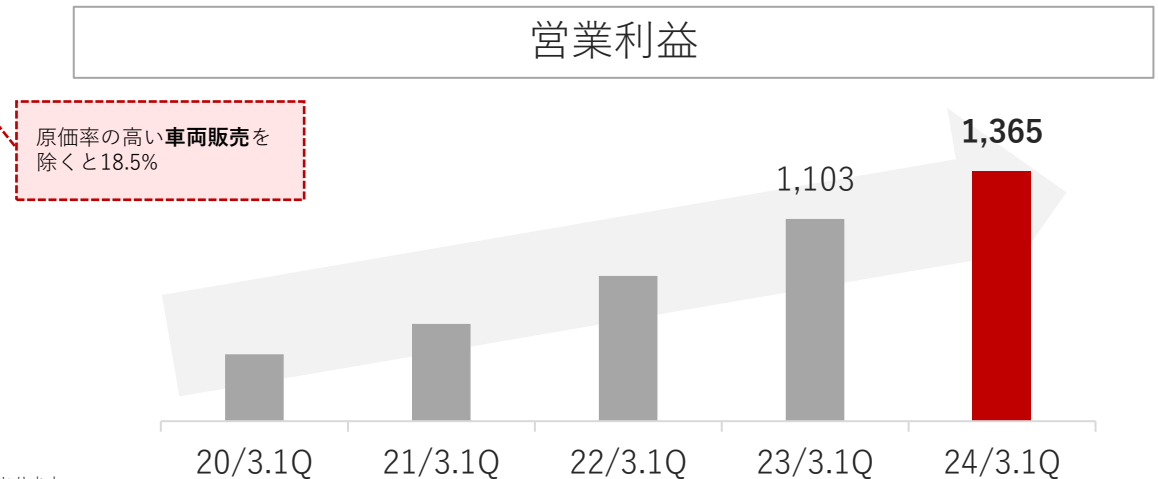
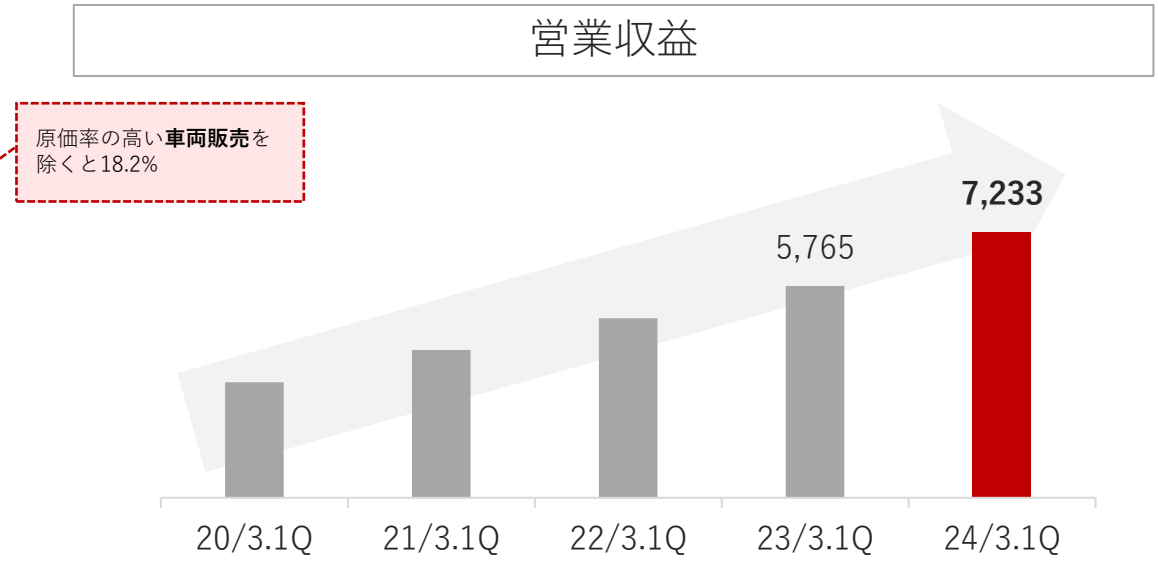
- ✓ 2021年の100万台突破から僅か約2年半で達成
- ✓ 会員向け商品やメンテナンスパック等**商品ラインナップ**の拡充



2. 決算概要

- 各事業の堅調な成長により、**営業収益は前年比 +25.5%の72.3億円**
- **営業利益は前年比+23.8%の13.7億円、税引前利益は前年比+21.7%の14.1億円**

	23/3.1Q	24/3.1Q	前年比
営業収益	5,765	7,233	+25.5%
営業費用	4,662	5,868	+25.9%
営業利益	1,103	1,365	+23.8%
税引前利益	1,157	1,408	+21.7%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	841	1,072	+27.5%
基本的1株当たり 当期利益 (円)	21.77	27.56	+26.6%



(注) 1. 前年の営業収益・費用は表示方法の変更により、一部組替をしております。
 2. 会計上の見積りの変更による保険資産評価益(20/3)及び負ののれん発生益(21/3)は非経常的な項目として営業利益に含めておりません。
 3. 2022年9月1日付けで普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っており、23/3.1Qの基本的1株当たり当期利益は株式分割が行われたと仮定して算出しております。

営業費用（内訳）の推移



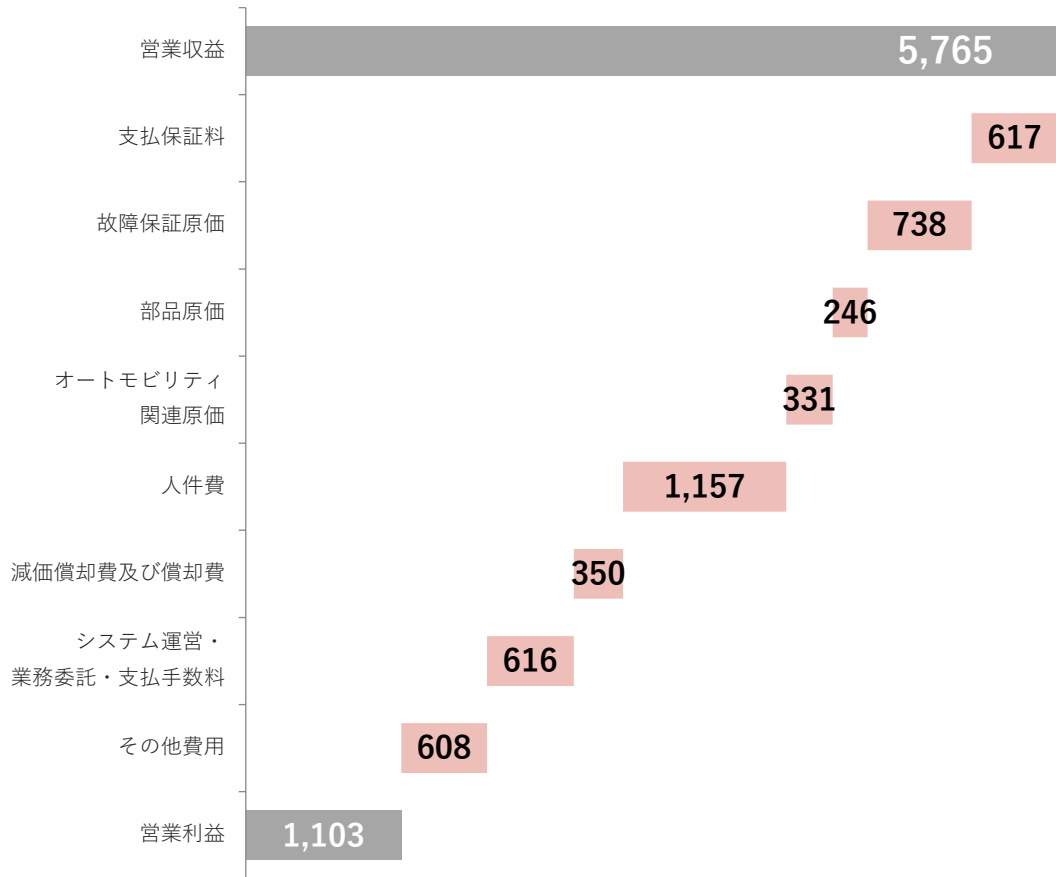
(単位：百万円)

■ 車両販売の増加による影響はあるものの、実質的には利益率の向上を堅持

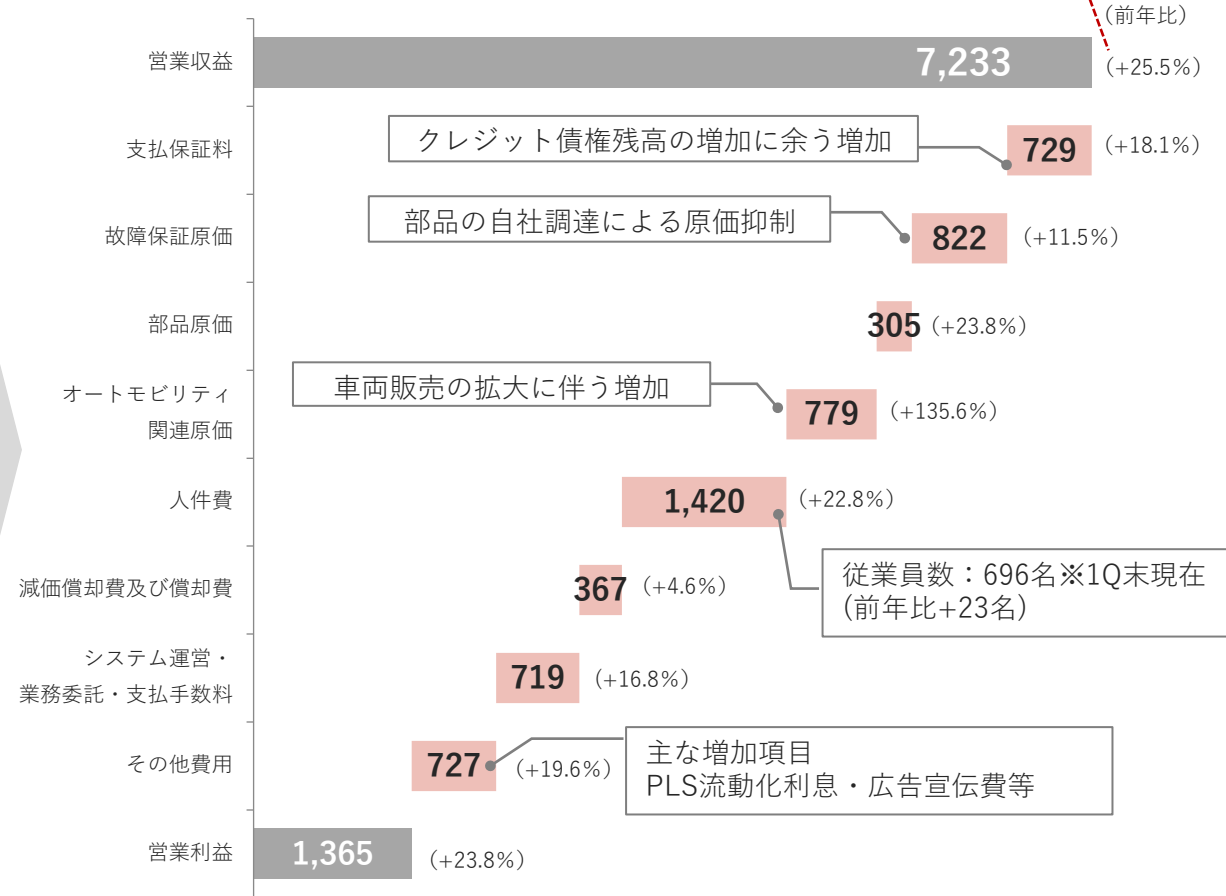
原価率の高い車両販売を除くと17.7%

原価率の高い車両販売を除くと18.2%

23/3.1Q 営業費用
4,662百万円



24/3.1Q 営業費用
5,868百万円 (前年比 +25.9%)



(注) 1. 前年の営業収益・営業費用は表示方法の変更により、一部組替をしております。
2. 速報値のため、修正・変更が生じた際は当社HP上にて速やかにお知らせいたします。

通期業績見通し

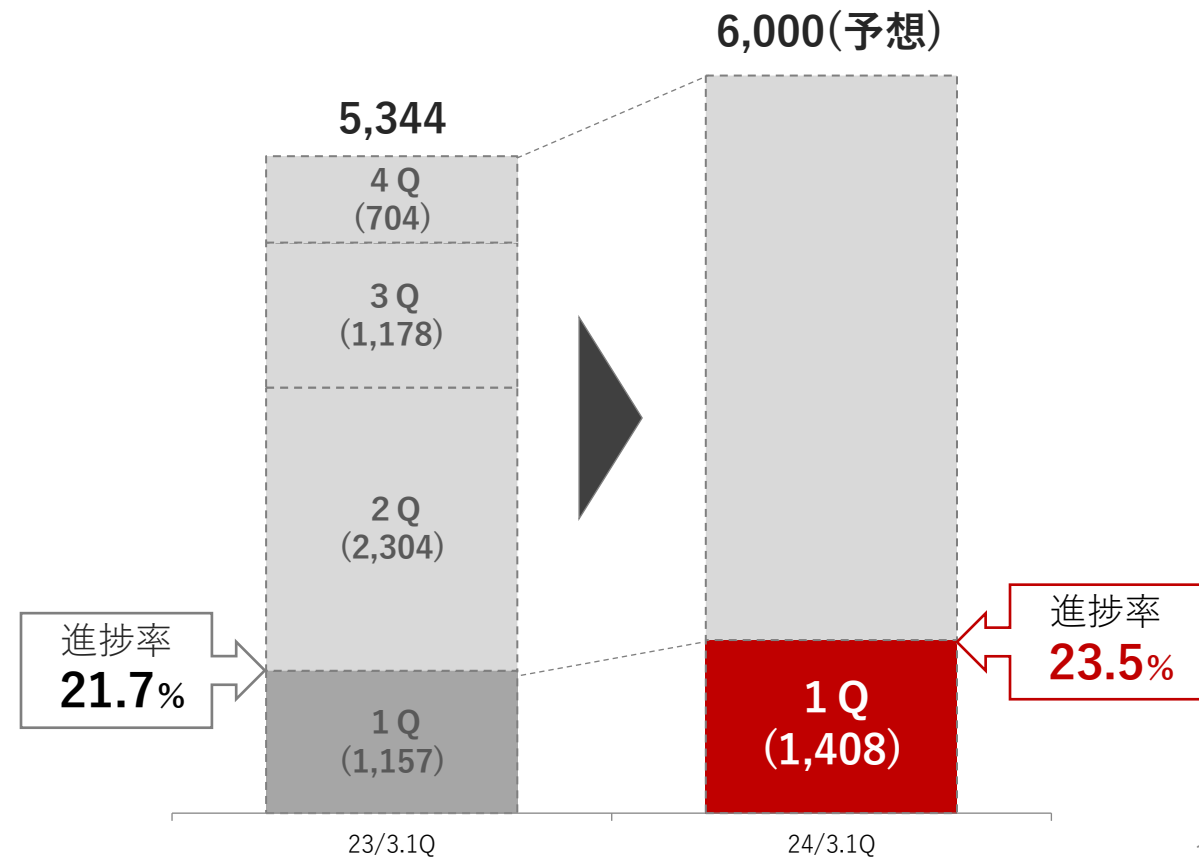
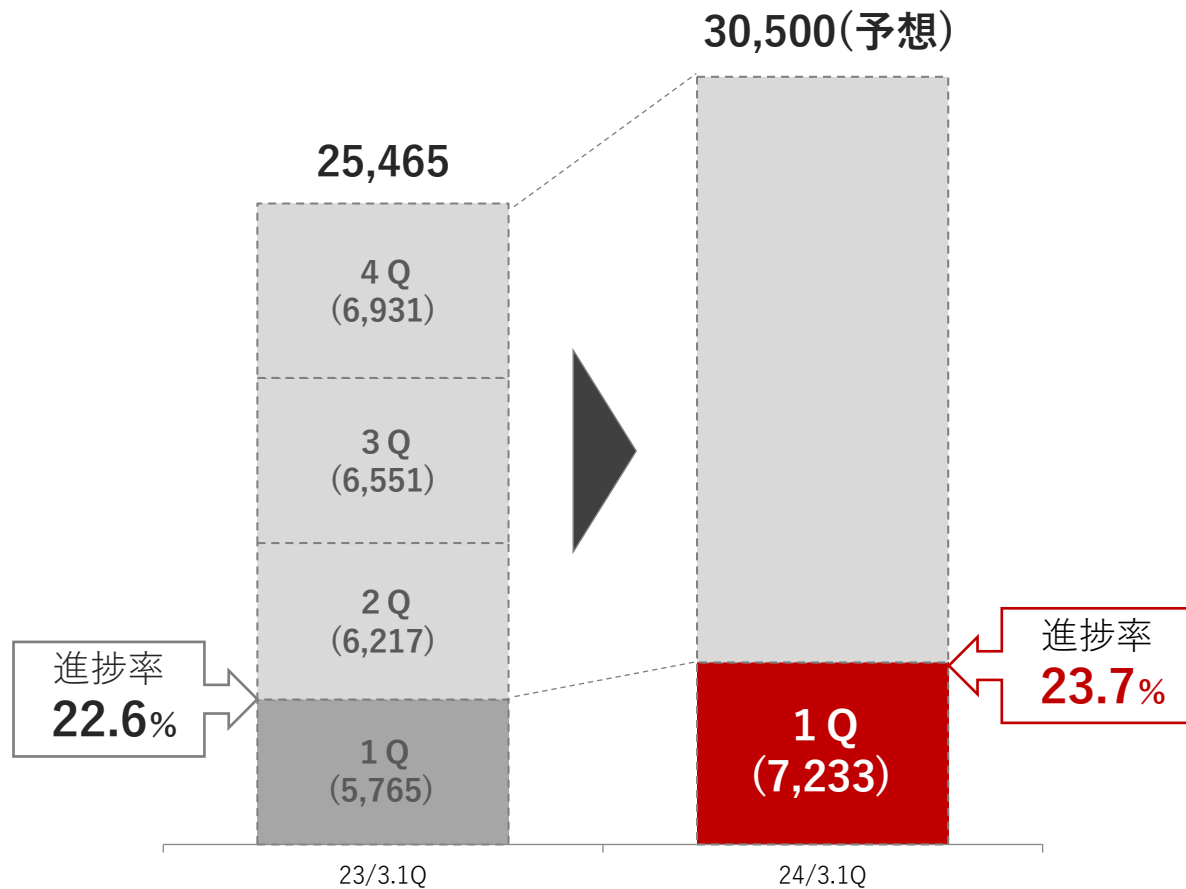


(単位：百万円)

- 営業収益・税引前利益ともに、概ね今期の業績予想通りに推移
- クレジット債権残高/故障保証残高の積み上げにより、四半期毎の業績は徐々に増加予定

営業収益

税引前利益



(注) 前年の営業収益は表示方法の変更により、一部組替をしております。

セグメント別業績



(単位：百万円)

- 各事業が**順調に伸長**した結果、**営業収益・税引前利益**はいずれも前年より**増加**
- 営業収益のうち、**オートモビリティサービス事業/カープレミア**が占める割合が**増加**

2024年3月期.1Q

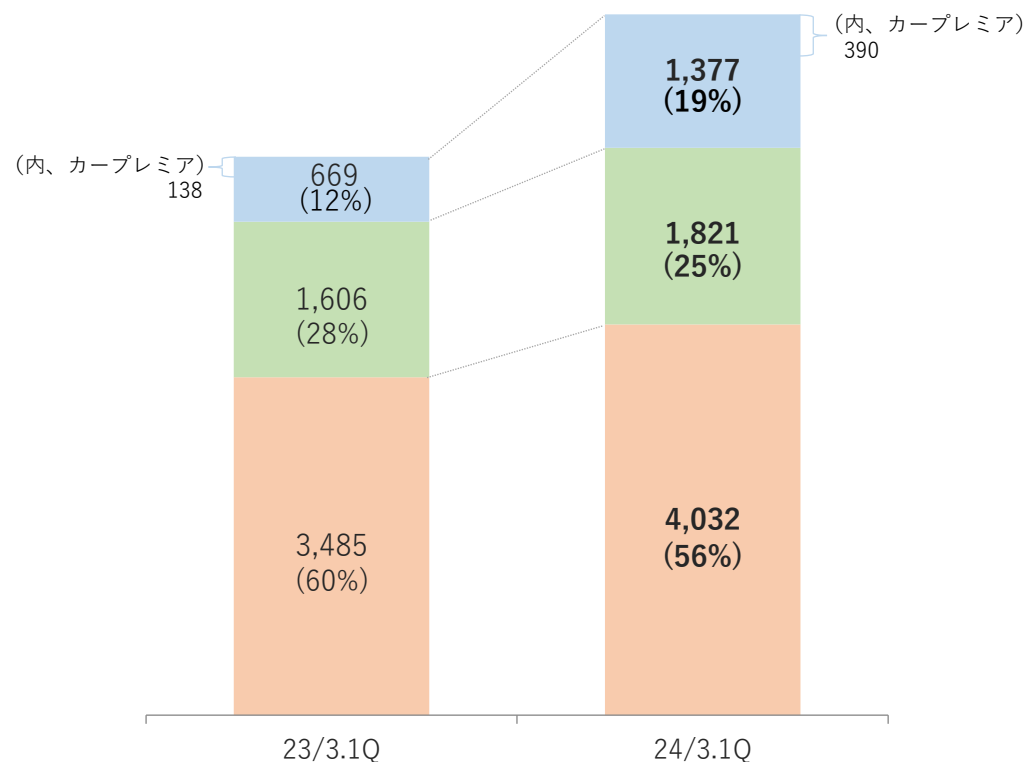
営業収益

税引前利益

	営業収益	税引前利益
ファイナンス事業	4,032 前年比 +15.7%	1,041 前年比 +12.7%
故障保証事業	1,821 前年比 +13.4%	223 前年比 +1.1%
オートモビリティサービス事業	1,377 前年比 +105.8%	146 前年比 +669.7%
(内、カープレミア)	390 前年比 +181.8%	11 前年比 +44

営業収益

ファイナンス 故障保証 オートモビリティサービス



(注) 1. 当期よりセグメント区分を変更したため、前期のセグメント別損益は、実務上可能な範囲でのみ反映しております。
 2. (内、カープレミア)のみ前年度の実績差を記載しております。
 3. 前年の営業収益は表示方法の変更により、一部組替をしております。

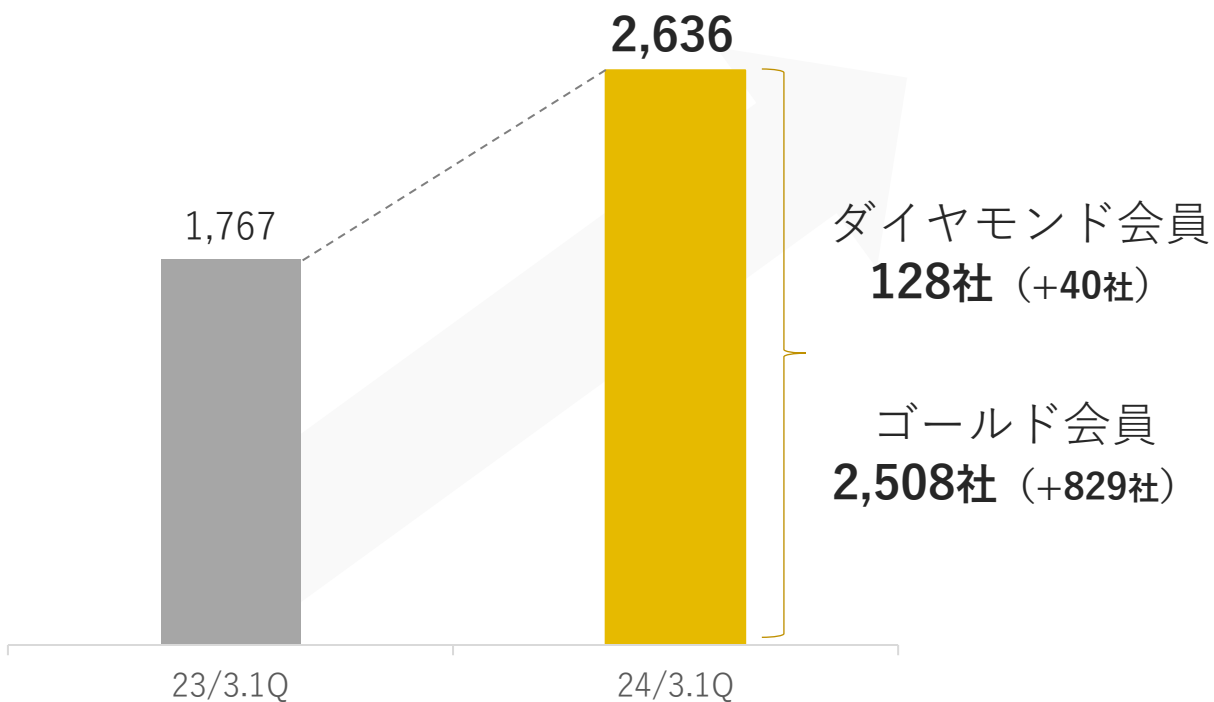


3. カープレミア

- 自動車販売店、整備工場の有料会員組織「カープレミアクラブ」を順調に構築
- サービスの拡充により、有料会員へのアップセル及び会員の拡大/会費収入の増加を目指す

カープレミアディーラー

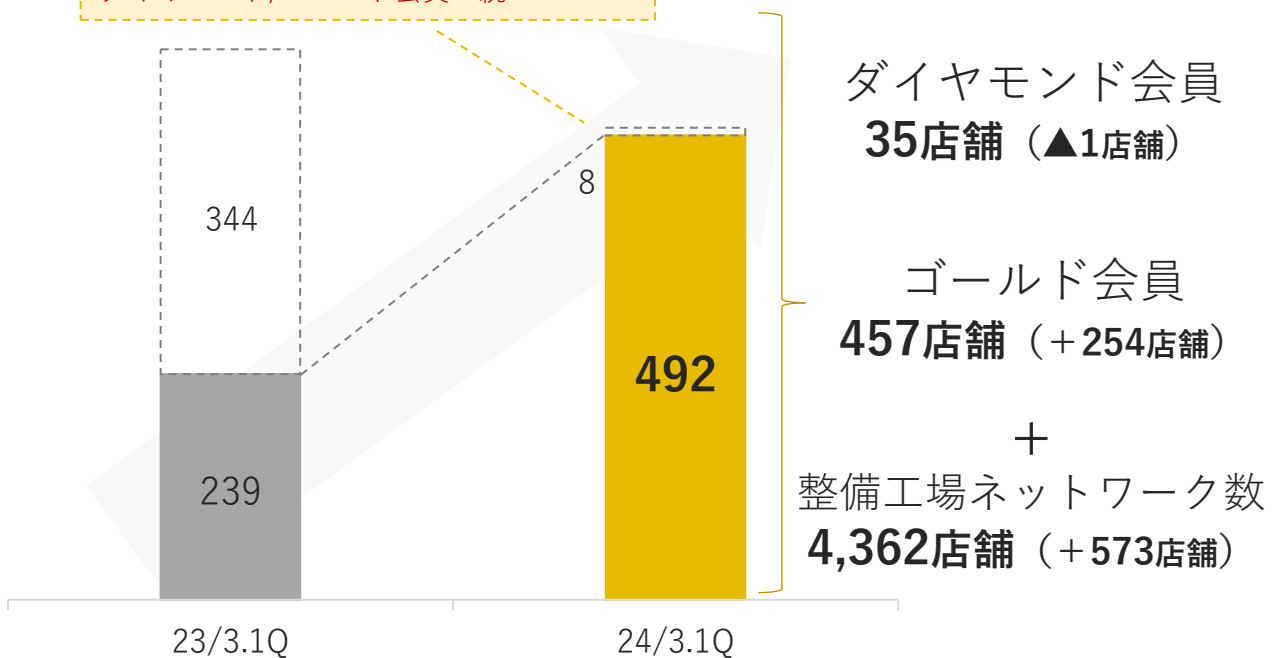
前年比 **+869社**



カープレミアガレージ

前年比 **+253店舗**

シルバー会員は組織改編に伴い廃止予定
カープレミアディーラー同様、
ダイヤモンド/ゴールド会員へ統一

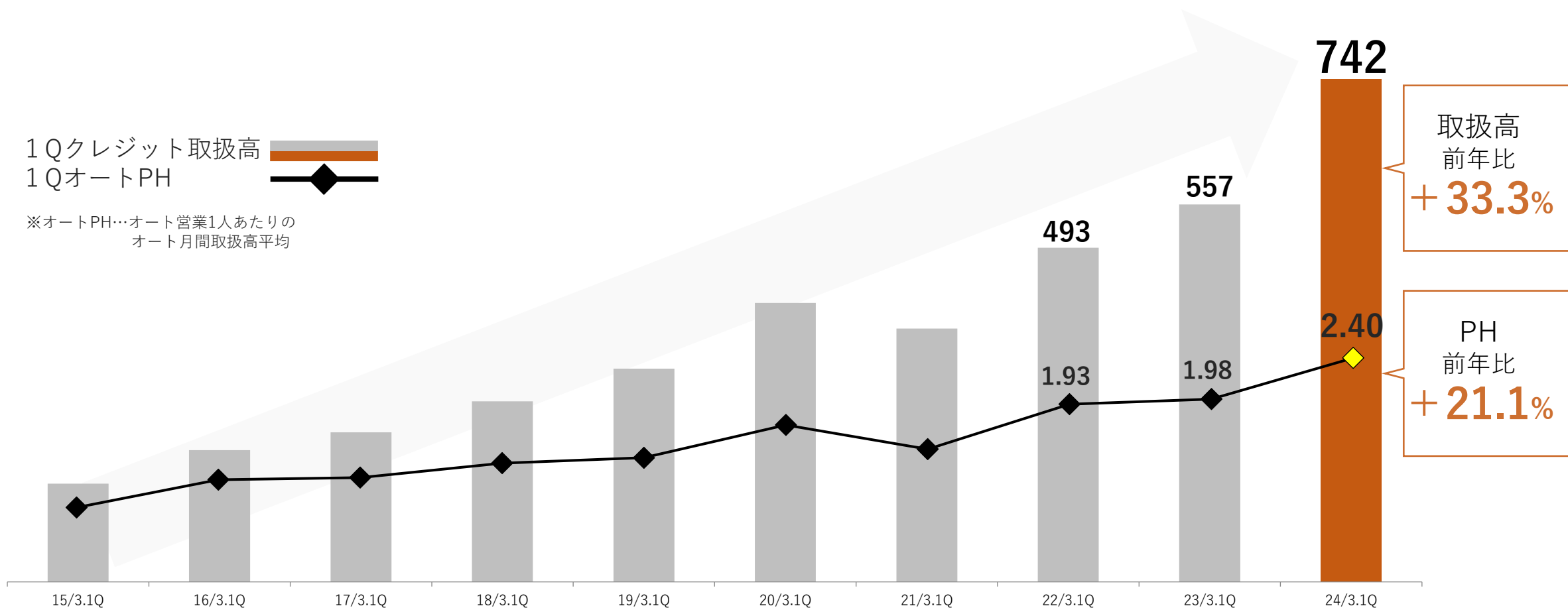




4. ファイナンス事業

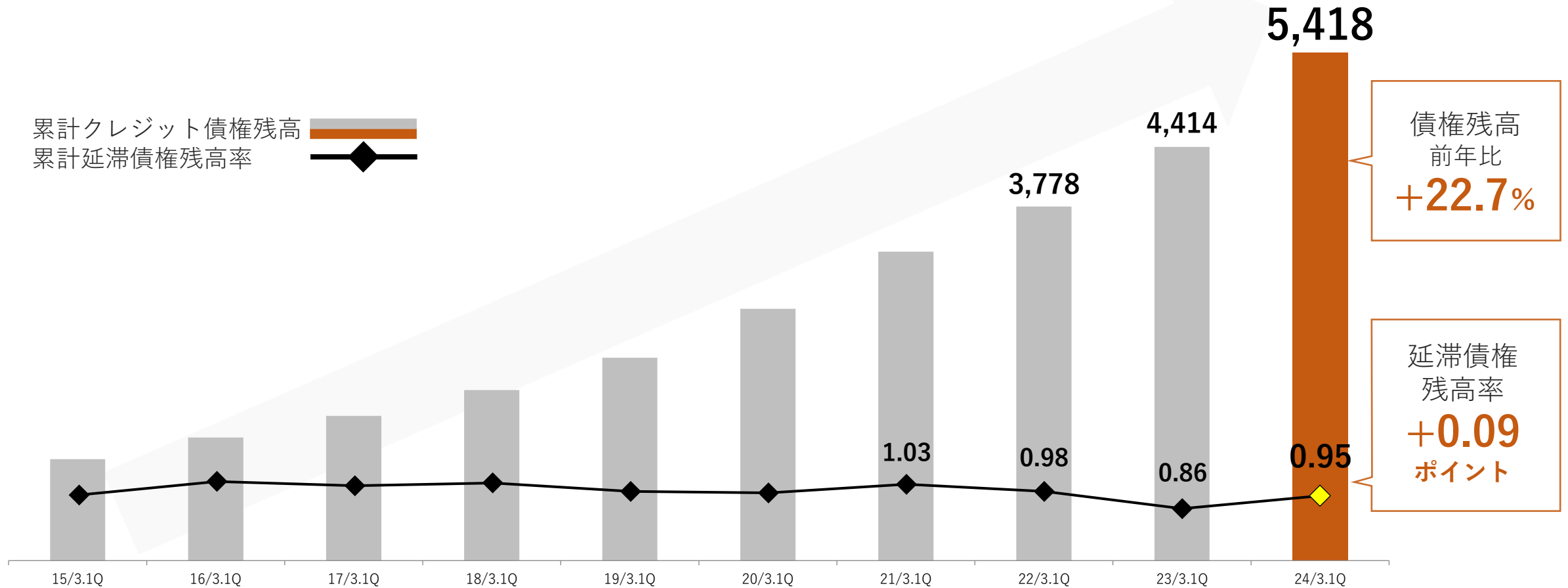
- 中古車市場は横ばいでありながら、**カープレミア戦略**が奏功し、大きくKPIが伸長
- **取扱高は前年比 +33.3%**、**オートPHが2億円**を突破。引き続きカープレミア戦略を推進

※カープレミア戦略…P.26参照



(注) 1. クレジット取扱高とは、その期間で新たに締結したクレジット契約及びリース保証契約金額の総額です。オートクレジット以外の商品（エコロジークレジット等）の取扱高も含めた値であり、プレミア(株)の実績です。
 2. 2021年3月期は新型コロナウイルス感染症の拡大により営業自粛を行ったため、一時的に取扱高が減少しております。

- クレジット債権残高**5,000億円**を突破し、前年比**+22.7%**で伸長
- 延滞債権残高率についても、引き続き**低位安定**の水準で推移
- **人員増強、DX施策（オートコール）、サービサー子会社と協業、延滞債権回収の継続的強化**



(注) 1. クレジット債権残高とは、開業から期末までの累計取扱高のうち、当該時点において返済されていない又は保証期間が経過していないクレジット契約金額及びリース保証契約金額の総額をいいます。オートクレジット以外の商品（エコロジークレジット等）の債権残高も含めた値であり、プレミア例の実績です。
 2. 延滞債権残高率は、当該期末時点のクレジット及びリース債権残高に対し、延滞月数が3ヵ月を超える債権及び特別債権（司法介入債権）の合計額が占める割合をいいます。

- 新規加盟店の開拓を継続するも、既存加盟店に対する**有料会員化への移行**を優先的に推進
→オートクレジット取扱高に占める有料会員（=カープレミアディーラー）の**割合**を開示
- 営業人員はPHの増加に注力（**仕組み化**や**営業活動の効率化**）し、大幅な増員は予定せず

カープレミアディーラー
オートクレジット割合

前年比
+10.4%

42.0%

有料会員の増加により
今後も継続的に増加予定

営業人員数

前年比
+9名

103名

既存加盟店に対する
有料会員化への移行を優先推進

AI審査判定率

前年比
+20.2ポイント

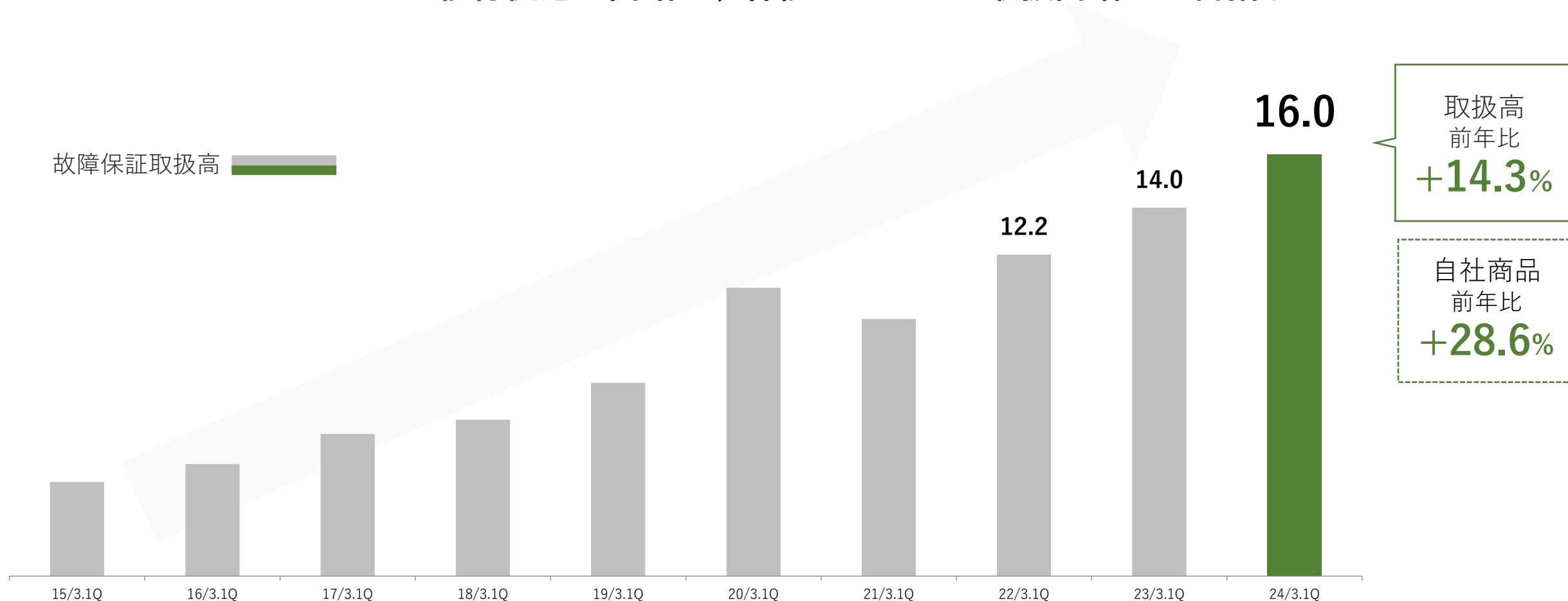
39.4%

審査の精度をさらに向上させ
審査時間の削減や判定の標準化を促進



5. 故障保証事業

- 中古車市場は横ばいでありながら、故障保証全体の**取扱高**は前年比**+14.3%**
- **自社商品**の取扱高は前年比**+28.6%**と継続的に伸長
- **カープレミアクラブ**への**移行促進**を開始し、保証サービスの取扱高増加を目指す



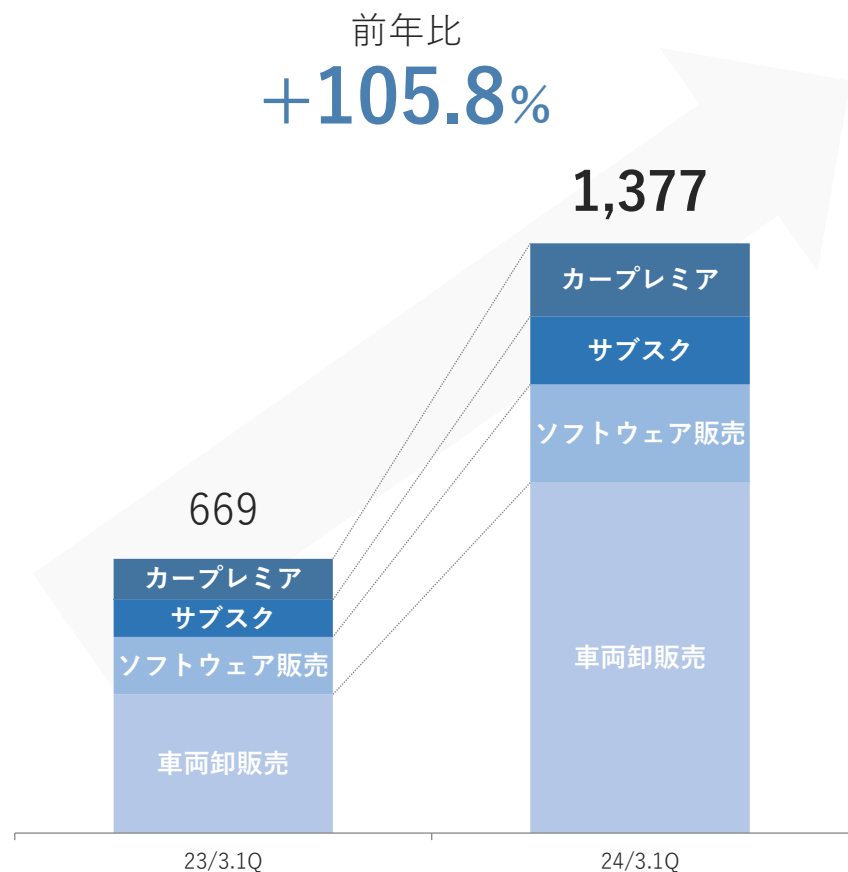
(注) 1. 故障保証取扱高とは、その期間で新たに締結した保証契約金額の総額です。
 2. 2022年3月期第3四半期に一部商品の取扱高の集計基準の見直しを行い、新基準を適用して記載しております。



6. オートモビリティサービス事業

■ 有料会員向けサービスの開発や新規事業に注力。各サービスともに大きく伸長

オートモビリティサービス事業 営業収益



カープレミアクラブ

前年比
+79.3%
カープレミアクラブ会員の増加により
カープレミア会費収入が増加

サブスク (リース)

前年比
+83.7%
カープレミアクラブ会員の増加により
プロパーリースの営業収益が拡大

ソフトウェア販売

前年比
+70.0%
プレミア加盟店に対する営業強化により
営業収益が拡大

車両卸販売

前年比
+153.1%
カープレミア内の流通量増加により
営業収益が拡大



7. Appendix

社名	プレミアグループ株式会社
証券コード / 市場	7199 / 東京証券取引所市場プライム市場
設立	2015年5月25日 ※2007年 プレミア株式会社設立（旧社名：株式会社ジー・ワンクレジットサービス）
本社	東京都港区虎ノ門2-10-4 オークラプレステージタワー
代表取締役社長	柴田 洋一
発行済株式数	40,327,770株 2023年6月末時点
資本金	1,674百万円 単体/2023年6月末時点
従業員数	696名 連結/2023年6月末時点（注）臨時雇用者を除く、グループ従業員数
主な株主	<ul style="list-style-type: none"> ・ Coupland Cardiff Asset Management : 5.97% ・ 野村證券（野村アセットマネジメント、ノムラインターナショナル） : 5.96% ・ 三井住友トラスト・アセットマネジメント、日興アセットマネジメント : 4.13% <p style="text-align: right;">（2023年6月7日時点 大量保有報告書等を参照）</p>
グループ内容	<p>国内および海外における各事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ カープレミア（自動車販売店、整備工場の会員組織構築） ・ ファイナンス事業 ・ 故障保証事業 ・ オートモビリティサービス事業 <p>※海外（タイ王国、インドネシア共和国、フィリピン共和国等）</p>

■ プレミアグループは、自動車販売店や整備工場の皆さまと一緒に
お客様に豊かなカーライフを届ける**オートモビリティ企業**です

事業セグメント

ファイナンス事業

▷主な事業

- ・オートクレジット
- ・エコロジッククレジット
- ・ショッピングクレジット
- ・サービサー

▷主な取引先

- ・自動車販売店

故障保証事業

▷主な事業

- ・自動車の故障保証事業
- ・故障保証事業の海外展開
(タイ、インドネシア、フィリピン)
- ・国内外への中古パーツ販売

▷主な取引先

- ・自動車販売店、整備工場

オートモビリティサービス事業

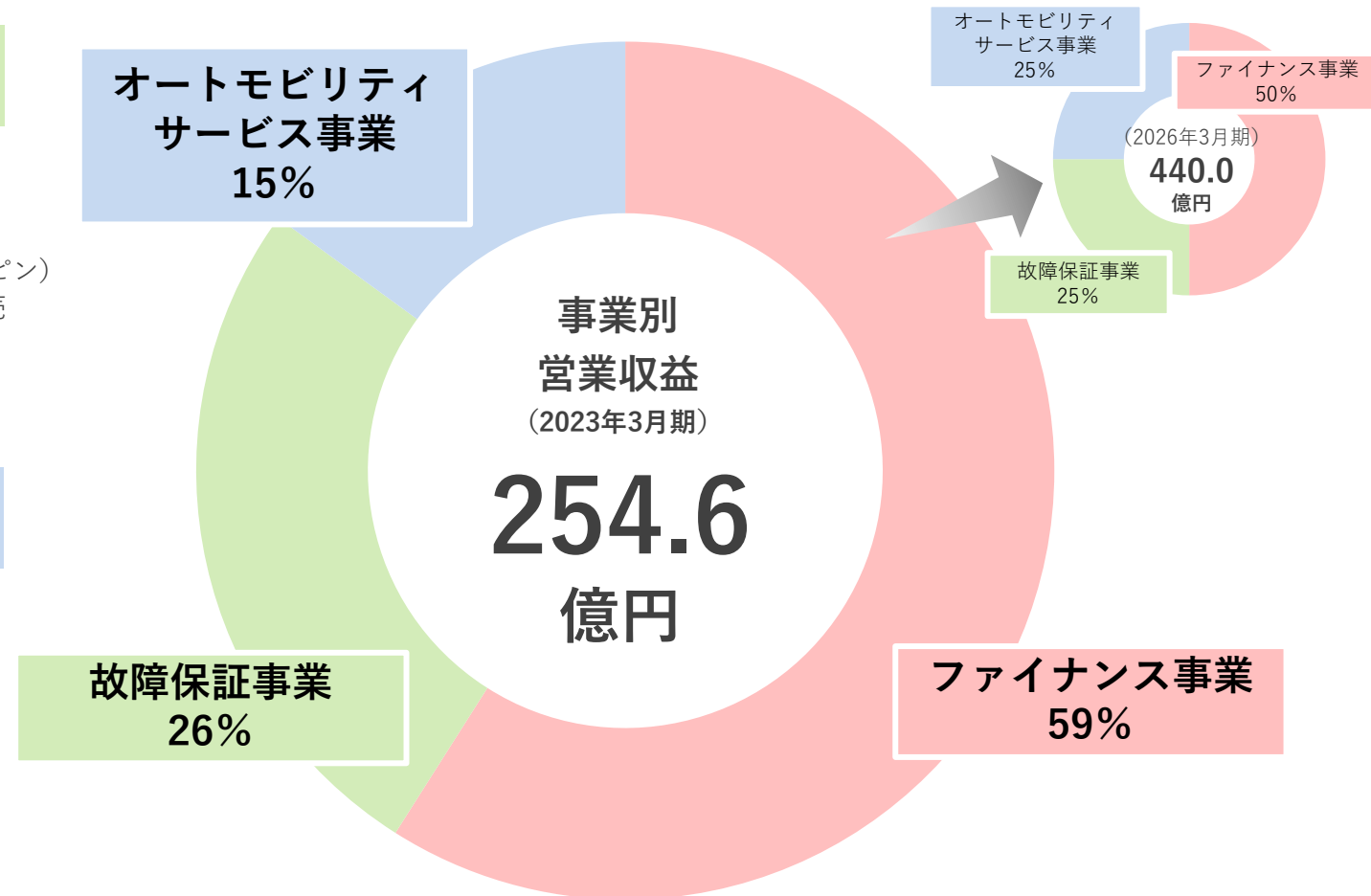
▷主な事業

- ・会員組織「カープレミアクラブ」の運営
- ・車両卸販売
- ・サブスク（リース）
- ・業務用ソフトウェア販売
- ・自動車整備工場の運営

▷主な取引先

- ・自動車販売店、整備工場

セグメント別ポートフォリオ



- DX戦略の策定から約1年で社内外のDX施策の**基盤を構築し**、
2022年「**DX認定事業者**」の認定、2年連続で「**DX注目企業2022**」「**DX注目企業2023**」を取得
- エンドユーザーとモビリティ事業者を繋ぐ、**プラットフォーム構想の実現を目指す**

DXビジョンの達成

2023年6月
経済産業省が定める
「**DX注目企業2023**」**連続**選定

2022年6月
経済産業省が定める
「**DX注目企業2022**」に選定

2022年5月
経済産業省が定める
「**DX認定事業者**」
の認定を取得

2022年4月
加盟店専用ポータルサイト
「**P-Gate**」リニューアル

2021年5月
**デジタル・トランス
フォーメーション
(DX) 戦略策定**

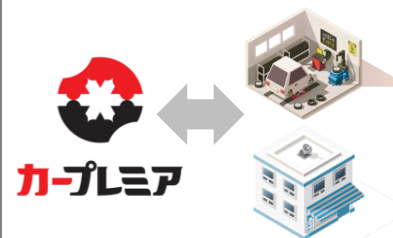
エンドユーザー向けDX



2022年7月22日に
お客様向けサイトがオープン

- ▼サイトでは…
- ・当社が提供する様々なサービスからクルマの乗り方をご提案
 - ・充実したアフターサポート

モビリティ事業者向けDX



モビリティ事業者向け
ポータルサイトのログイン率

※2023年6月末時点

- ・加盟店全体：66.7%
- ・カープレミアディーラー：99.4%

→販売店との
コミュニケーションツールとして機能


中期ビジョン

ONE & ONLYのオートモビリティ企業を目指して、
カープレミア事業モデルの確立


数値目標

営業収益	税引前利益	当期利益	ROE	時価総額
440億円	102億円	70億円	30%台	1,400~1,750億円
23/3比 +74.6%	23/3比 +91.0%	23/3比 +75.0%	23/3実績 34.7%	23/3比 204~255%


重要課題

 **カープレミア**


- ・カープレミアクラブの拡大
- ・カープレミアブランドの確立
- ・リアル/ネットの集客力強化

 **ファイナンス**

- ・カープレミアディーラーを拡大
- ・加盟店当たりの取引量増加

 **故障保証**

- ・第三者保証市場の拡大
- 自社商品中心に拡販
- ・修理原価の低減

 **モビリティサービス**

- ・モビリティサービスの拡充
- ・モビリティ各事業の規模拡大
- ・差別化商品の開発

取扱拡大

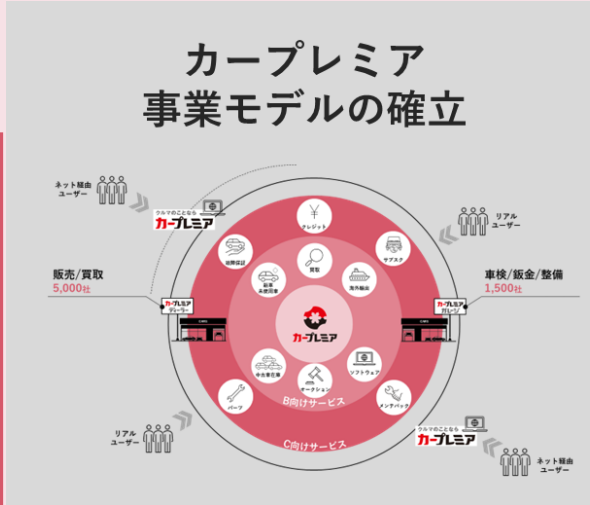
DX人材の強化

DXへ継続投資

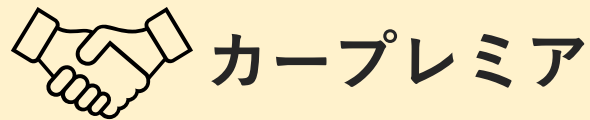
↓

DX推進による業務効率化および省力化実現

カープレミア事業モデルの確立



カープレミア事業モデルの確立に向けて、セグメントの見直しを予定
オートモビリティサービス/カープレミア事業を統合し、更なるグループ間シナジーの創出を目指す



ファイナンス事業

プレミア(株)

オートクレジットを中心としたファイナンス事業の運営・統括

中央債権回収(株)

債権回収, 車輛引揚事業

Eastern Commercial Leasing p.l.c. *

オートクレジット, 故障保証事業
(タイ証券取引所上場)

故障保証事業

プレミアワランティサービス(株)

故障保証事業の運営・統括

プレミアオートパーツ(株)

オートパーツ関連事業

Premium Service (Thailand) Co.,Ltd

タイにおける自動車整備, 故障保証事業

PT Premium Garansi Indonesia *

インドネシアにおける故障保証事業

Premium Warranty Services Philippines, Inc. *

フィリピンにおける故障保証事業

オートモビリティサービス事業

プレミアモビリティサービス(株)

オートモビリティサービス事業の運営・統括

PLS(株)

個人向けオートリース事業

プレミアソフトプランナー(株)

事業者向けソフトウェア開発, 販売事業

CIFUT(株) *

自動車関連IoT装置の開発・提供

カープレミア(株)

モビリティ事業者向け会員組織の開拓・運営

PAS(株)

自動車整備事業、钣金・塗装事業

(注) 1. 「*」は関連会社を表しております。

(23/3 3Q)外部環境の変化に対する当社の対応

- **為替変動**については、外貨建取引が極めて僅少
- **金利上昇、インフレ**については機動的に対応



業績への影響は**殆どなし**

① 為替変動



外貨建取引は**僅少**
→ 影響は**殆どなし**

② インフレ・物価高



機動的に**手数料・商品価格を改定**
→ 影響は**殆どなし**

③ 金利上昇

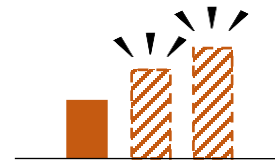
オートローン調達金利

> **契約済**の債権



貸出・調達ともに
固定金利
→ 影響なし

> **新規**に契約する債権



機動的に**金利等に転嫁**
→ 影響は**殆どなし**

財務戦略



- ・ **固定金利**での調達割合を増加
- ・ 資金調達手段の**多様化**を推進
(債権流動化・社債・CP等)



更に**低利・安定的な**資金調達を実現

	23/3.1Q (2022年6月30日)	23/3 (2023年3月31日)	24/3.1Q (2023年6月30日)	前年同期比	前Q比
資産の部					
現金及び現金同等物	10,040	14,857	12,792	+27.4%	△13.9%
金融債権	37,314	45,003	48,233	+29.3%	+7.2%
その他の金融資産	5,751	6,281	6,522	+13.4%	+3.8%
有形固定資産	3,415	3,074	2,961	△13.3%	△3.7%
無形資産	6,678	7,930	8,317	+24.5%	+4.9%
のれん	3,958	3,958	3,958	△0.0%	+0.0%
持分法投資	1,647	2,624	2,716	+64.9%	+3.5%
繰延税金資産	3	5	81	+2254.9%	+1626.0%
保険資産	3,814	4,465	5,529	+45.0%	+23.8%
その他の資産	9,585	13,234	12,619	+31.7%	△4.6%
資産合計	82,207	101,431	103,728	+26.2%	+2.3%
負債の部					
金融保証契約	31,718	36,818	39,468	+24.4%	+7.2%
故障保証前受収益	5,511	6,030	6,355	+15.3%	+5.4%
借入金	23,396	31,682	31,740	+35.7%	+0.2%
その他の金融負債	6,796	7,855	6,854	+0.8%	△12.7%
引当金	341	363	364	+6.7%	+0.1%
未払法人所得税	192	603	350	+82.2%	△41.9%
繰延税金負債	1,414	1,360	1,489	+5.3%	+9.5%
その他の負債	2,467	3,367	2,957	+19.9%	△12.2%
負債合計	71,836	88,078	89,577	+24.7%	+1.7%
資本の部					
親会社の所有者に帰属する持分					
資本金	1,700	1,700	1,700	△0.0%	+0.0%
資本剰余金	1,347	1,415	1,455	+8.0%	+2.8%
利益剰余金	8,185	10,952	11,596	+41.7%	+5.9%
自己株式	△ 1,150	△ 1,088	△ 1,088	△ 5.3%	+0.0%
その他の資本の構成要素	259	343	454	+75.1%	+32.5%
親会社の所有者に帰属する持分合計	10,342	13,322	14,117	+36.5%	+6.0%
非支配持分	28	31	35	+21.7%	+10.6%
資本合計	10,370	13,353	14,151	+36.5%	+6.0%
負債及び資本合計	82,207	101,431	103,728	+26.2%	+2.3%

連結会計期間	23/3.1Q (2022年4月1日～ 2022年6月30日)	23/3.4Q (2023年1月1日～ 2023年3月31日)	24/3.1Q (2023年4月1日～ 2023年6月30日)	前年同期比	前Q比
営業収益	5,765	6,931	7,233	+25.5%	+4.4%
営業費用	4,662	6,222	5,868	+25.9%	△5.7%
営業利益	1,103	709	1,365	+23.8%	+92.4%
持分法による投資利益	63	52	60	△5.4%	+16.0%
その他の金融収益	1	△44	4	+372.5%	△108.0%
その他金融費用	9	12	20	+114.0%	+65.0%
税引前当期（四半期）利益	1,157	704	1,408	+21.7%	+99.9%
法人所得税費用	312	207	332	+6.4%	+60.9%
当期（四半期）利益	845	498	1,075	+27.3%	+116.1%
当期利益の所属					
親会社の所有者に帰属する利益	841	497	1,072	+27.5%	+115.8%
非支配持分に帰属する利益	4	1	4	△15.3%	+254.3%

PL (営業収益・営業費用)



(単位：百万円)

連結会計期間	23/3.1Q (2022年4月1日～ 2022年6月30日)	23/3.4Q (2023年1月1日～ 2023年3月31日)	24/3.1Q (2023年4月1日～ 2023年6月30日)	前年同期比	前Q比
営業収益					
金融収益	2,962	3,302	3,495	+18.0%	+5.8%
故障保証関連収益	1,225	1,332	1,387	+13.3%	+4.1%
オートモビリティ関連売上	589	1,176	1,207	+104.7%	+2.6%
その他手数料売上	543	596	605	+11.4%	+1.5%
部品売上	353	338	422	+19.3%	+24.7%
金融資産の減損利得	55	8	70	+26.5%	+736.9%
保険履行収益	-	125	-	-	-
その他	37	53	48	+29.3%	△9.1%
合計	5,765	6,931	7,233	+25.5%	+4.4%

連結会計期間	23/3.1Q (2022年4月1日～ 2022年6月30日)	23/3.4Q (2023年1月1日～ 2023年3月31日)	24/3.1Q (2023年4月1日～ 2023年6月30日)	前年同期比	前Q比
営業費用					
金融費用	47	50	68	+45.4%	+35.2%
故障保証関連原価	738	719	822	+11.5%	+14.4%
オートモビリティ関連原価	331	836	779	+135.6%	△6.8%
支払保証料	617	692	729	+18.1%	+5.4%
部品原価	246	262	305		
従業員給付費用	1,121	1,326	1,356	+21.0%	+2.2%
減価償却費及び償却費	350	368	367	+4.6%	△0.4%
支払手数料	273	245	303	+10.8%	+23.6%
租税公課	218	255	238	+9.1%	△6.9%
システム運営費	199	231	230	+15.7%	△0.2%
業務委託料	144	242	187	+29.4%	△22.9%
その他営業費用	379	996	486	+28.3%	△51.2%
合計	4,662	6,222	5,868	+25.9%	△5.7%



カープレミア

本資料に掲載されているIR情報は、プレミアグループ株式会社及び関係会社（以下当社）の財務情報、経営情報等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる表明・保証を行うものではありません。本資料に掲載されている当社の計画や戦略、業績の見通し等は、将来の予測等に関する情報を含む場合があります。これらの情報は現在入手可能な情報に基づくものであり、経済動向、業界での競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実な要素を含んでいます。従って、将来、実際に公表される業績等はこれらの種々の要素によって変動する可能性があり、当社は本資料の情報を使用したことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありません。なお、当社は、新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものでもありません。本資料に情報を掲載する際には、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざん、データダウンロード等によって生じた障害等に関し、当社は事由の如何を問わず一切責任を負うものではないことをあらかじめご了承ください。本資料に含まれる著作物は、著作権法により保護されており、それらを無断で複製、改編、翻訳、頒布、実演または展示することは禁止されております。本資料への情報の掲載は、投資勧誘を目的にしたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定はご自身のご判断で行うようお願いいたします。